

報告書アウトライン案

章構成・内容は引き続き検討中なるも、報告書に盛り込みたい事項は以下のとおり。

1. 本調査の問題意識、要旨
 - ・ 開発プロセスの自立的管理と援助マネージメントを考える視点
 - ・ 3カ国における中央経済官庁の役割・機能の概観・比較
2. 国別コンテキスト（3カ国）
 - ・ 開発計画の策定アプローチ、特徴、時代変遷
3. 開発プロセス管理（3カ国）
 - ・ 開発行政の制度的枠組み、予算・援助受入れの動向
 - ・ 予算管理（開発計画との整合性、財政規律、予算策定プロセス・調整メカニズム）
 - ・ 公共投資計画（開発計画との整合性、公共投資計画の策定・優先順位づけにおける調整メカニズム、公共投資事業の計画・審査・承認プロセス）
 - ・ 上述の機能に影響を与える制度・政治的要因
4. 事例分析： タイの東部臨海開発計画（ESB）
 - ・ 第5・6次5ヵ年計画における位置づけ、ESB概要、直面した課題
 - ・ ESB推進に貢献した要因（中央経済官庁、調整メカニズム、リーダーシップ、テクノクラート官僚の役割、中央経済官庁の役割、外部要因等）
5. 援助マネージメント（3カ国）
 - ・ 援助の役割、ドナー支援の戦略的活用
 - ・ 外来知識の吸収・内生性、TAの活用
 - ・ カントリーシステムの活用、援助のプログラム化
 - ・ 卒業、新興ドナーへ
6. 総括、途上国と国際援助潮流への示唆
 - ・ 開発行政制度の構築・援助の活用方法等、今日の途上国への示唆
 - ・ 援助効果向上の議論等、ドナー側への示唆